

HESDフォーラム2007

(2007/12/22:岩手大学)

玉 真之介
岩手大学副学長

HESDフォーラム開催の趣旨

- 大学におけるESDの取組を独自のカテゴリとして明確化を図る
→HESD:Higher Education for Sustainable Development
- 取組を交流し、大学間のネットワークを作っていく
- 情報発信と連携した取組を作り出す

環境教育からESDへ

- 目標としての持続可能な社会
- エントリーポイントとしての環境教育
- どのようにつながりを広げていくか
- 多様な教育がつながりを広げていけるのがESDの魅力

岩手大学の取組

- 持続可能な社会のための教養教育の再構築:「学びの銀河」プロジェクト
- 平成18年度現代GP採択事業
- 岩手大学ESD推進委員会
- 全学共通教育改革案(平成18年6月決定)に盛り込む:平成19年度から実施
- 起点となった問題意識:特色ある教養教育

岩手大学の「旗印」としてのESD

- 全学共通教育における結集軸
- 教養教育と専門教育の橋渡し
- 世界の大学との連携
- 地域の幼小中高大連携
- 高校生・社会・企業に対するメッセージ
- 国内の大学との連携
- 大学評価へのアピールポイント

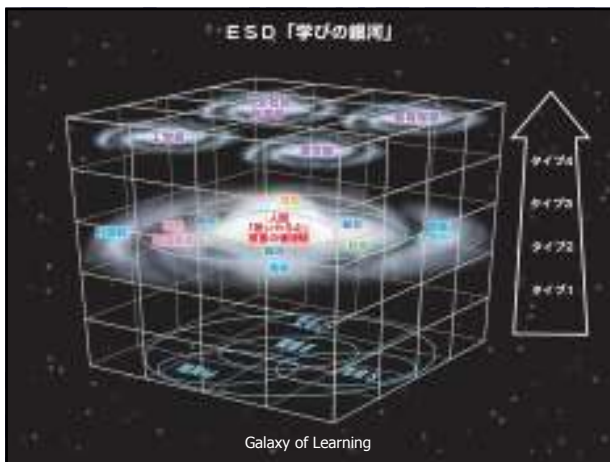


ESDの価値観と宮沢賢治

- 「世界がぜんたい幸福とならないうちは、個人の幸福はありえない
正しく強く生きるとは銀河系を自らの中に意識してこれに応じて行くことである」 「農民芸術概論綱要」
- 「僕もうあんな大きな暗の中だってこわくない。きっとみんなのほんとうのさいわいをさがしに行く。どこまでもどこまでも僕たち一緒に進んで行こう。」 「銀河鉄道の夜」

これまでの取組(1)

- 全学共通教育への織り込み
「さらに、教育目標の達成に当たっては、国連持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)の10年」を共通に意識することに努めています。」
- 「学びの銀河」:4つの領域と4つのタイプ
環境(E)、経済(M)、社会(S)、文化(C)
関心の喚起(1)、理解の広がりと深化(2)、学生参加(3)、問題解決の体験(4)



これまでの取組(2)

- ESD銀河セミナーの開催
- 第1回(2006.10.13)
「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画について
文部科学省 澄川 雄
参加者 5名
- 第12回(2007.12.6)
持続可能な生活スタイル
参加者 約50名

これまでの取組(3)

- 国際シンポジウムの開催
2007. 8. 30-9. 3(盛岡)
- International Symposium on Education for Sustainable Future: Roles of Asian Universities and Opportunities for Collaboration
パネリスト:韓国2名、中国名、カンボジア2名、タイ2名、ユネスコ1名、岩手大学長、岩手県立大学長

これまでの取組(4)

- ユネスコAPEIDでの報告
- 2007.12.12-14(バンコク)
Reinventing Higher Education : Toward Participatory and Sustainable Development
- Reconstructing General Education for Sustainable Future : "Galaxy of Learning" Project
- General Education: ESD: Responsible Citizen for 21st Century

これからの取組

- 高年次課題科目の増加
北上川自然体験を学ぶetc
- ESD副専攻の開設
- 岩手県幼小中高大ESDサミット(2008/7/5)
- ESDサマースクール(海外から学生受入)
- フィンランド(EUの北東北)との連携(日本のフィンランドを目指す)
- 取組の評価(ESD評価委員会)

ご提案(1)

- 「HESDフォーラム」を緩やかな大学間ネットワークの名称にしては？ 毎回、翌年の開催大学を決めて、そこが事務局に。
- 目的は、「お互いの交流と協働の情報発信、連携活動のためのプラットフォーム」
- HESDフォーラム2008は、2008/12/13or14、立教大学で

ご提案(2)

- G8洞爺湖サミットに向けた連携行動
2008/6/23~7/6をESDウィークにしては？
- 各大学でこのウィークに何らかの取組
- 早めに情報を集約して、北海道から九州・沖縄までの大学の協働の取組としてマスコミにアピール
- 大学の存在感を政界・経済界・社会に示す

Presidents Climate Commitment



2007/6結成

The fight against global warming will shape the 21st century. Colleges and universities must exercise leadership in their communities and throughout society by modeling ways to eliminate global warming emissions, and by providing the knowledge and the educated graduates to achieve climate neutrality. Campuses that address the climate challenge by eliminating global warming emissions and by integrating sustainability into their curriculum will better serve their students and meet their social mandate to help create a thriving, ethical and civil society. We hope you will join us in supporting the American College & University Presidents Climate Commitment.

Sincerely,
The Signatories of the American College & University
Presidents Climate Commitment

ESDの力と可能性

- ESDには、社会の大学評価を、世界の日本評価を変える力と可能性がある
- 社会の大学に対する評価を変えるために連携した取組を！！
- ご静聴、ありがとうございました。